

防災訓練

こいこい広場で東京消防庁の消火訓練に協力・出石町会

西大井3丁目の「出石こいこい広場」で11月29日(土)の朝、東京消防庁第二方面本部の総合震災消防訓練があり、地元の出石町会も防災区民組織のミニポンプ隊員等が出場し協力しました。同訓練は首都直下地震(M7.3)を想定し、同広場(第1会場)から2km離れた東大井2丁目先の勝島運河沿い(第2会場)の2か所で実施され、同本部消防救助機動部隊や大井消防署など傘下の7署職員、品川区内3消防団が参加しました。

品川区と大田区を管轄している第二方面本部では、同広場(第1会場)から2km離れた東大井2丁目先の勝島運河沿い(第2会場)の2か所で実施され、同本部消防救助機動部隊や大井消防署など傘下の7署職員、品川区内3消防団が参加しました。

第1会場では出石町会区域内の住宅から出火したとの想定による「街中訓練」が実施されました。住民が消火器等を使って初期消火活動(自助)したが消えません・・・。町会所有のD級ポンプ(ミニポンプ)で放水した町会女性隊員の消火活動(共助)でも火勢が強く延焼拡大中。

町会員が119番しました、しかし消防車は他地域の火災で出払っており、大井消防署可搬ポンプ隊と大井消防団第3、4分団が駆け付けましたが消火栓は使用不能(地震想定)です。

そこで延焼場所から離れた場所にある防火水槽(防災活動広場)から数台の可搬ポンプに何本もホースを繋いで放水・鎮火させる訓練をしました。

第2会場では、火災現場近くの防火水槽の水が不足している為に、運河の水を何台もの可搬ポンプとホースを繋いで2km先の防火水槽に充水する「遠距離延長送水訓練」を仮定し、勝島運河護岸において大井消防署を除く6消防署、大井消防団1、2分団と品川・荏原消防団が連携して行いました。

これらの模様は即映像処理され、第1会場に設置されたモニターで見ることができ好評でした。

今回の訓練は、大井消防署が幹事役となっており、こいこい広場の有る地元出石町会が協力を求められたものでした。

従来の訓練想定とは異なった珍しいケースで、現在、大井第三地域センター内の各町会で協力して進められている「地区防災計画作成」のためにも良い経験になったと思います。

なお、この訓練内容は後日、フジテレビの番組「イット」で全国に紹介・放映されました。

(出石町会会長 古賀忠壹 記)



東京消防庁幹部と出石町会の皆さん



ミニポンプ隊の
消火活動(放水)

放水止め～！



大井消防団第3・4分団の皆さん



勝島運河の訓練をモニターで

ボッチャを体験し楽しめましょう～西大井二丁目町会コミュニティ活動～

ボッチャとはジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツで、年齢、性別、障害のあるなしにかかわらず、どなたでも一緒に楽しめるスポーツです。

西大井二丁目町会では、11月15日ウエルカムセンター原にてボッチャを体験し楽しむ催しを行いました。

ボッチャが初めての人が大半なので、まず品川区スポーツ推進委員さんからルールや投げ方などを教えてもらい、3人一組のチームを作り競技を開始しました。

年齢層も幼児から高齢者まで幅広く、一緒に対戦を行いました。始めはぎこちなかったものの、ゲームが進むにつれ上手になっていき、「楽しかった」「またやりたい」との感想が寄せられました。

(日暮記)



大井第一小学校の開校150周年記念式典

11/15(土)、大井第一小学校の開校150周年記念式典が執り行われ、森澤区長をはじめ多数の来賓にご臨席いただきました。

「学習の中に150周年を組み込む」という吉川校長の方針のもと、現在の6年生は昨年度から集会・記念品・発表など各プロジェクトチームに分かれ準備を重ねてきました。記念式典では、児童たちがこれまで主体となって意欲的に取り組んだ成果を、招待客に披露することができました。

午後からはおおいちPTA主催による祝賀会が行われ、多くの来賓や教職員がテーブルを囲み、150周年の晴れの節目を祝いました。会場となった体育館では大井第一小学校同窓会から校歌板が寄贈され、記念スライドショーも上映されました。また卒業生客演として、大井囃子の演奏と獅子舞の披露が祝賀ムードを盛り上げ、音楽ユニット・こもどーるによる演奏が会場をあたたかく包み込んでくれました。

多くの地域の方々、卒業生、在校生が一堂に介して150周年を祝うことができ、「大井第一小で学ぶ」という伝統と繋がりを感じられる一日となりました。

(藤澤記)



鏡開き



こもどーる



吉川校長と森澤区長



大井囃子



*品川区のホームページでカラー版と既刊がご覧いただけます。